



元気っ子

No.264 ながさわ保育園

園長 中瀬 弦 偉

長い梅雨が明けたと思ったら、いきなり猛暑日の連続で、体調を崩す子どもたちもチラホラ見受けられます。エアコンのかけすぎも体調不良の一因になりますので、各ご家庭では、子どもたちの様子をしっかりと観察しながら、子どもの目線になって、「適度に」エアコンを使って体調を管理してあげてください。

小学校の子どもたちは、夏休みに突入して「遊ぶ」ことに大忙しだと思います。もちろん宿題も大切ですが、夏休みにしかできないような「夢中になって遊びこむ」時間というのもとても大切です。幸い、このながさわ保育園の周辺は豊かな自然に囲まれています。そういったものに触れ、カブトムシを捕まえたり、川で魚やドジョウ、カニなどを捕まえたり、自然の中にはたくさんの「遊び」が存在しています。テーマパークなどでの思い出作りもまた大切なことだと思いますが、そんな自然の中で、仲間たちと「遊び」をクリエイトしていく想像力、創作力というのは何にも代えがたい貴重な経験であり、こういった「チカラ」こそが、子どもたちが学びの場で、また社会においても生かされる場面というのが必ず出てきます。

子ども時代にそれこそ数えきれないほどの想像力、創作力を活かした実体験を身体いっぱい詰込み、万全の準備をしたうえで、「頭で考える世界」に入っていくことで、本当に心の底からの「理解」ができるのだと思います。

保育園で子どもたちの姿を見ていると、本当に何も無いところでも遊びをクリエイトしている場面を見かけます。子どもたちの持っている柔軟な思考、想像力には本当に感心させられますし、そこをもっともっと伸ばしてあげられるような保育を、我々保育者は目指していかないといけないと日々実感しています。是非、ご家庭でもお休みの日などにこういった子どものもっている可能性を意識して過ごすような時間を持っていただけたらと思います。

残念ながら、最近の子どもはここで言うような「実体験」が少ないまま、即、頭だけで考える習い事や勉強が増えています。ゲームやテレビなど映像を通してのものも同様です。媒体はそれこそ一生懸命売り込むための宣伝をしますが、「実体験」に勝るものではありません。自分の肌で感じて、その時に動かされた心というものはずっと自分の中に残るものです。



是非この八月という夏の季節を有意義にお過ごし下さい。大切なのは子どもたち自身が主役になって、夢中になって遊ぶことだと思います。